



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2023年
8月4日
発行

第189回

「フィッチの米国債格下げ」

～財政規律を取り戻せ！～

初めに

8月2日の日本株は大幅安となり、日経平均は前日比768円下落しました。米国の格付け会社フィッチ・レーティングスが米国債の格付けを引き下げた、というのが背景にあります。今回は、米国の財政悪化や、それが米国及び世界経済に与える影響についてお話しします。

格付け会社とは

格付け会社は、特定の企業に対してその企業が債務不履行に陥る可能性がどのくらいあるかを監視する会社です。日本ではあまりなじみがないと思いますが、欧米では広く認知されています。フィッチは、今回の格下げについて、米政府の債務負担が増える見通しになっていることに加えて、債務上限を巡る政治の対立が続いていることが理由と説明しています。また、学資ローンなど支持者に対するバラマキ的な政策、先が見えないウクライナ戦争への介入、軍事費の増加なども理由として挙げられるでしょう。

米国だけではない財政悪化

財政の悪化は米国だけではありません。日本も今までは異次元緩和を続けてきましたが、当初の3年以降は見るべきものではなく、逆に財政赤字が膨らんでいます。しかし、植田日銀総裁は異次元緩和を修正する姿勢を見せているので、この先、日本の財政は悪化から改善へと転換することが期待できそうです。他国でもリーマンショックやパンデミックの際、政府や中央銀行が景気の悪化を過度に懸念して大量の資金を放出したことがありました。このようにして、主要国の間で財政規律を遵守する機運は薄らいできました。

こうした中で飛び込んできたのが、米国の格付け大手フィッチが米国債を格下げしたというニュースです。自分は、これが財政規律重視へのきっかけになるのではないかと考えました。思えば、先ほど述べた植田氏の異次元緩和修正も、このフィッチの動きと同じように、財政重視への転換を示していたのかもしれない。

金利上昇と株式市場

最後に、時間はかかるかと思いますが、今後そうなった場合に株式市場ではどのような企業が物色されるかについてお話しします。まずあげられるのは金融株です。銀行などは異次元緩和の下で金利収入が上がりませんでした。今後は収益機会が大きく広がりそうです。保険・証券株も同様でしょう。金・銀・石油など実物資産にも妙味があると思います。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。